

通信業におけるその他の用具を起因物とする死傷災害発生事例（2017年）

2017 年 発生 月	時間	死傷災害発生事例	年 齢	労働 者規 模
3	17~18	2階フロアを通行している際に足元にあったケースに右足が躓き、転倒しそうになった際に右手を床についたところ、右腕を負傷した。なお、被災者は足元にケースがあることを認識していた。	65	500 ～ 999
3	16~17	業務に従事中、手すき時間を利用して片付けを行う為にロッカーへ行ったところ、足元に置いてあるさな板につまずき転倒し、全身を強打し、左三角骨を負傷した。	56	100 ～ 299
3	18~19	他の社員が集荷した着物をパレットへ積み込み作業を応援する為、L字型に折り畳んである鉄Ⅲ型赤パレットを発着台に運び、パレットを展開するために発着台で、中腰の姿勢で当該パレットを組み上げていた際、中板のストッパーがロックされていなかったため中板が落下し、右眼下瞼付近に接触し、右眼下瞼を裂傷した。	36	500 ～ 999
4	14~15	1階発着口の8番線から10番線へ、運送便トラックに積載する銀色パレットを左手でけん引していた時、9番線で運送便トラックに積載しようと搬出作業をしていた運送便のドライバーが赤色パレット2台を同時に前方へ押し移動した結果、動線が交差してしまったため、左腕から肘にかけて赤色パレットの右前方と衝突した。当初は軽度の打撲のみと推測し業務を継続したが、痛みが治まらず、左肘を骨折していたことが判明した。	46	500 ～ 999
5	22~23	当局3階南側供給口付近で、供給作業中、鉄製V型（グレー）パレットの手前中棚を右手で跳ね上げて、左手を添えて格納しようとした際、支えていた右手が滑り、中棚が落下して、パレット側面の格納ストッパー（横棒）と中棚レールに、レール内側の位置にあった左手中指が挟まれた。	48	1000 ～ 9999

6	16～ 17	局内掃除中、事務机に上がり、窓ガラスとブラインドを水拭きして、事務机から右足で床に降りようとしたところ、椅子があったのに気づかず右足を椅子に引っ掛け、左足の踵から床に落ちた。	58	100 ～ 299
6	14～ 15	窓口事務室カウンターでお客さま対応中、後方キャビネットへ書類を取りに行こうとした際、OA機器接続ケーブルが外れていたため、右足をケーブルに引っ掛け転倒し、負傷した。	56	100 ～ 299
6	22～ 23	倉庫内でチルド用ケースの整理をしていた際、天井から垂れ下がっていたコードをよけようと、コードを手で上げたところ、コードを支えていた赤パレットが後部から倒れてきて、右足小指を打撲した。赤パレットはL字に畳まれており、その上にコードが載せられていて、不安定な状態であった。	73	500 ～ 999
6	14～ 15	折り畳んであった鉄製パレットを組み立てようと、フレームロックを外し広げたところ、床板固定用フックが劣化しており、床板が倒れて頭部にぶつかり、頭部打撲挫創により、全治1週間と診断された。	39	500 ～ 999
7	3～4	B1階中央エレベーター前に横向きで置かれていたCRBの向きを直して、エレベーター（2号機）に乗せようと思いいきり引っ張って斜めに移動した際に、横に置かれていたチルドコンテナの存在を失念していたため、CRBの角とチルドコンテナの角に右手甲を挟み負傷。CRBが満載の状態で重く、タイヤの調子が悪かった。	51	500 ～ 999
7	15～16	宴会調理メインキッチンにて、ホテル内各レストランに用意する味噌汁、コーンスープ、冷やしそばなどを準備していた際、ステンレスの寸胴鍋に20?ほどスープ類が入った20kg前後になるもの、ステンレスの寸胴鍋に10?ほどスープ類が入った15kg前後になるもの、40袋分（1袋230g入り乾麺）のそばを大鍋で茹でる際のざるなどを床から約1mの作業台や床から約1.2mの高さの台車に複数回持ち上げたり運んだりすることで背中を痛めた。当日は傷みが続いていたが終業時間まで就労した。翌日は朝は就労したが痛みがあった。	31	1000 ～ 9999
10	4～5	郵便小包を区分し輸送容器（パレット）に積み込み中、小包を上段奥へ積み込むために、中板1枚を収納しようとした時に、中板収納部に左手を添えていた事を失念したまま中板を勢いよく収納したため、中板収納部の金属と収納した中板の間に左手薬指を挟んでしまい負傷した。【輸送容器（パレット）について】パ	24	500 ～

		レットは容器を上段下段に分ける中板があり、その中板は手前、奥で2枚に分かれている。また手前の1枚はパレット右側に収納部があり、収納できる構造になっている。		999
10	15～ 16	小包集荷のため役所に入ろうとしたところ、入り口前の泥除けマットのたわみに右足をひっかけ、バランスを崩し、左足の方から転倒した。その際、左足の膝部を入り口前階段の1段目の角に激突させた。	31	100 ～ 299

出典： https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_11.html